

葉酸に着目したブランド農産物化



葉酸、ビタミンC、
カルシウム、鉄等の
栄養価がたっぷりの
「さかどルーコラ」



地元高校と農家が試験栽培
栽培した農産物を農協の直売所や地元スーパーで販売
健康づくり応援店のメニューにも登場

葉酸を活用した地域活性化の取り組み



ジャンボさかど葉酸のり巻きイベント
(30mののり巻きを小学生が巻く)



葉酸が多く含まれるメニューの開発
(女子栄養大学連携)



葉酸を多く含む野菜を活用した料理講習会
(健康づくり応援店協力)



葉酸フェア(割引セールなど)
(毎年4月3日~10日)

生み出された効果

- 市民の健康増進
 - 葉酸をツールとしてまちづくりを展開することにより、野菜摂取や食習慣の改善が進み健康増進が図られた。
- 市民活動の活発化
 - 葉酸の講習会を主体とした自治会主催の健康教室が立ち上がった。
 - 市民ボランティアと連携した講習会やイベントが開催できた。
- 商業の振興
 - 健康づくり応援店の売り上げや評判が上がるなど、飲食店を中心に活気が生まれた。
- 農業の振興
 - 葉酸を多く含む「さかどルーコラ」の栽培や販売を促進することで、ブランド農産物の誕生につなげた。

工夫した点

- 食品の効果効能の表示など、薬事法に抵触しないよう、保健所の指導のもとに対応した。
- 市で作成したのぼり旗や葉酸マークをPR媒体として活用するなど、店舗や商品のPRを進めた。
- 市民に対し、葉酸への理解促進を図るため、女子栄養大学と連携して、講習会の開催などを積極的に進めた。
- 地元企業や商工会、農協などと連携を図り、市の健康政策の取り組みとして、まちぐるみの活動を進めた。
- 新聞やTVなどのメディアを通じて、さかど葉酸添加食品や健康づくり応援店などのPRを積極的に進めた。